

○メブチン錠・▼顆粒 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プロカテロール塩酸塩 procatamol hydrochloride 【分類】 気管支拡張剤 [β2 刺激剤]

【単位】 ○50 μg錠, ▼顆粒 0.01%

【常用量】 50~100 μg/日

【用法】 分1~2 [朝, 寝る前]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 β2 受容体選択的刺激による気管支拡張薬。作用時間が長く耐性を生じにくい。血管透過性亢進抑制作用, 気道絨毛運動亢進作用をあわせ持つ。

【主な副作用・毒性】 振戦, 心悸亢進, 動悸, 頻脈, 低 K 血症, 振戦, 頭痛など。過度に使用を続けた場合には不整脈や、場合によっては心停止を起こすおそれがある。

【F】 27% [イヌ] (1)

【tmax】 1.1~1.5hr (1)

【代謝】 肝代謝, 初回通過効果を受ける (Eldon MA, et al: Pharm Res 10: 603-5,1993) 尿中の代謝物は, グルクロン酸抱合体, デスイソプロピルプロカテロール, 5-ホルミル-8-ヒドロキシキノリン-2 (1H) -オン, 8-ヒドロキシキノリン-2 (1H) -オン (1) CYP3A4 が関与 (1) グルクロン酸抱合を受ける (Kobayashi H, et al: Int J Clin Pharmacol Ther 48: 744-50, 2010 PMID: 20979933)

【排泄】 腎および糞便中に回収 (1) 尿中未変化体排泄率 10% [po, 24hr まで] (1) 15.7% [po] (Kobayashi H, et al: Int J Clin Pharmacol Ther 48: 744-50, 2010 PMID: 20979933) 【CL】 988mL/min (Pharm Res 10: 603-5,1993) 【腎 CL】 163mL/min (Pharm Res 10: 603-605,1993) 【非腎 CL/CL】 84% (Eldon MA, et al: Pharm Res 10: 603-5,1993)

【t1/2】 錠: 3.6hr (1) α相 3hr, β相 8.4hr (1) 4.2hr (Eldon MA, et al: Pharm Res 10: 603-605,1993) 3.8hr (Kobayashi H, et al: Int J Clin Pharmacol Ther 48: 744-50, 2010 PMID: 20979933)

【蛋白結合率】 15% (1)

【Vd】 2.28L/kg [ラット], 2.53L/kg [イヌ] (1)

【MW】 335.83

【透析性】 資料なし (1) 一部は透析されると思われるが, 総クリアランスが大きいいためその寄与は小さい (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 0.236 [1-オクタノール/buffer, pH7.2] (1) 【pKa】 7.35.9.37 (1)

【更新日】 20141220

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。